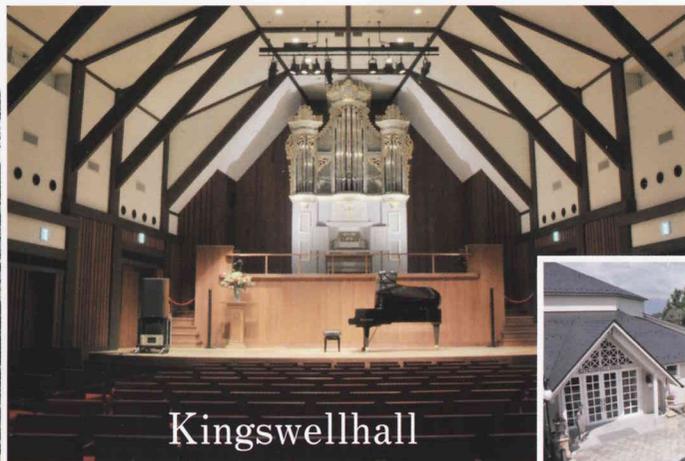


2010  
open

ゆったりとした時の流れに いつの間にか  
心癒されていることに気づく そんな空間



キングスウェルホールは、1000㎡の木造建築。羊色の外壁が暖かに包み込み、ユニークな形の大屋根は天然石のスレート葺き。内部も、素朴な木の質感とラインの美しさが際立ち、響きが心地よい、落ち着いた空間です。また、建物設計はアーク建築設計

ローマカヴァリエーリヒルトンやホテルエデン等、長年イタリアで修行したシェフが、誰もが幸せな気持ちになる本場のヘルシーなクチャーナ(料理)に、腕を振ります。

事務所により、200席という贅沢なホール内の正面には、オルガニストの憧れ……ドイツ・ドレスデン近郊・レータ村の小さなマリアン教会に現存するバロックのパイプオルガン(1721年製作)の複製品が大きな存在感とともに、シンボルとなります。このジルバーマンスタイルのオルガンは、ベネツィア・バロックオーケストラ・マエストロのA. マルコム氏の推薦により、170年余の伝統を誇るイタリア・ザニン社の工房で、3年の年月をかけて製作された秀品です。



スタンダードやクライミングローズの沈床式フォーマルガーデンをはじめ、ロートアイアン(英国製)のローズウォーク、清らかな水の流れに沿って可憐な花々が咲き誇る庭や花木の庭、ロックガーデン、ホワイトガーデン、ヒーリングガーデンなど500種に及ぶ花木と、英国ビクトリア風のグラスハウスなど、構造デザインがきっちりとした本格的な英国庭園です。

